

授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

テーマ : 現役コンサルタントが語る企業でのMOT
授業特別協力者名 : 塚松 一也 氏
(株式会社日本能率協会コンサルティング
R&D組織革新・KI推進センター チーフ・コンサルタント)
実施日時 : 2020年1月6日(月)4時限
担当教員名 : 斎藤 正武
授業科目名 : 技術経営論
実施場所 : 8305 教室
履修者数 : 450名(授業外参加者含む)

実施結果

「企業の中での技術経営の実態、イノベーションの発案と具現化プロセスを中心にその課題と対処を講演された。具体的には、1) 技術をお金に換えるとは、何を考え何を行うことか(イノベーションとインベンションとの違い)、2) イノベティブな発想、着想、発案の仕方、3) イノベーションテーマの推進上の悩ましさと乗り越え方、というテーマに沿って、100ページ弱ものスライドを使い丁寧に話をしていただいた。



熱心に話す塚松氏

同氏は通常企業人に講演を行っているが、今回は、学生に身近な例、トクホのお茶や、iphoneはイノベーションなのか、インベンションなのか?と、学生目線に合わせて話をしてくれたことが印象的だった。授業での定義やテキストベースのありきたりの事例ではなく、リアリティのある話が聞け、学生にとって大変刺激的な講演会であった。



講演会の様子(全体)